

取 扱 説 明 書

H29.08 改訂	PD-0287
NO.	CATS-RMC-N-2

※この説明書は必ず製品と一緒に保管して下さい。
 ※この説明書は必要に応じてコピーしてご使用下さい。

施工前に必ずお読み下さい

ケミカルアンカー[®] まくらぎ孔補修用カプセルの施工について

まくらぎ孔補修方法用カプセルは、補修用途および使用するボルトや穿孔寸法により使用するカプセルが選定されます。補修用途に適したカプセルを使用し、正しい施工を行ってください。

1. カプセルの種類と施工仕様

木まくらぎ・合材まくらぎ孔補修用カプセル（ガラス管タイプ）

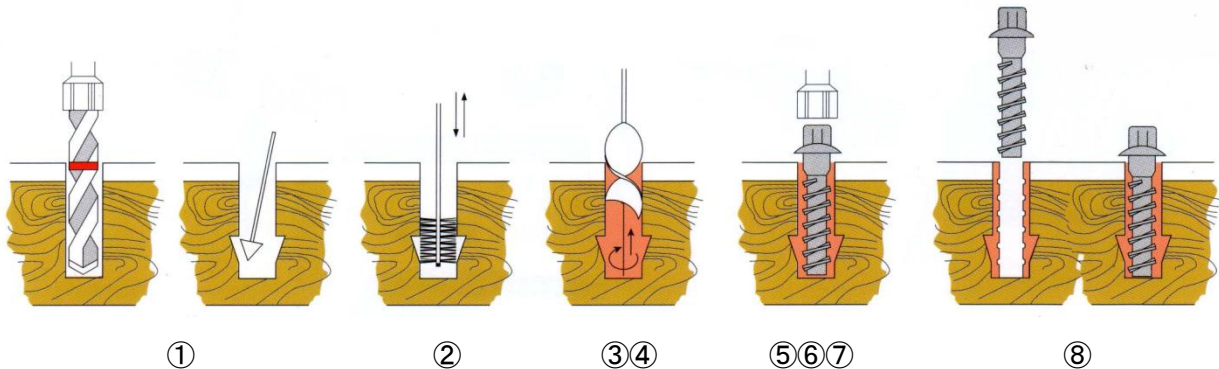
品 番	カプセル容量 (cm ³)	カプセル寸法 外径×長さ(mm)	削孔寸法(mm)		使用ボルト
			ビット径	深さ	
RM-2213CBN	40	21.0φ×130L	24	130	φ23スクリュースパイキ
RM-2290CBN	28	21.0φ×90L	RM-2213CBNの補充用		
RM-2213FCN	40	21.0φ×130L	24	130	φ23スクリュースパイキ
RM-2290FCN	28	21.0φ×90L	RM-2213FCNの補充用		

2. 硬化養生時間

品 名	施工環境温度別の硬化養生時間
	0 ≤ ~ < 35℃
RM-2213CBN (RM-2290CBN) RM-2213FCN (RM-2290FCN)	30分

3. 施工方法

木まくらぎ・合成まくらぎ孔補修方法



①母材穿孔

まくらぎの既存孔を所定の寸法で削孔します。
(必要に応じてルーター、アンダーカッターで孔壁の拡張処置を施します。)

②孔内清掃

切粉を専用ナイロンブラシ、フロア、掃除機等で除去し、孔内の清掃を行います

③カプセル挿入

カプセルのキャップ側を孔底側に挿入します。

④カプセル攪拌

カプセルの攪拌は、電気ドリルに装着した専用攪拌金具を用いて行います。(金具の先端が孔底に達した時点で5~10秒程度攪拌し、回転させながらゆっくりと抜き取ります。)

⑤ボルト埋め込み

ハンマードリルにてボルトに回転・打撃を与えながら埋込みを行います。(樹脂量が足りない場合は、補充用カプセルを追加して下さい。)

⑥位置合わせ

樹脂の硬化が始まる前(埋込後即座)に治具を用いて位置合わせを行います。

⑦硬化養生

硬化養生中は、ボルトに衝撃、荷重をかけないようにしてください。

⑧締結装置セット

養生後に専用ボルトを抜き取り、締結装置をセットします。

4. 専用ブラシ、専用攪拌金具

品 番		適 用	形 状	寸法 (mm)	
A	VP-23K	孔内清掃用回転ドリル装着型ナイロンブラシ		a	30
				b	90
				c	130
B	EK-22K	カプセル攪拌用(回転ドリル装着型)		d	22
				e	80
				f	130

5. 取扱い上の注意事項

危険



【危険有害性情報】

- ・皮膚に接触すると有害のおそれ
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・全身毒性、腎、中枢神経系の障害
- ・水生生物に毒性
- ・強い眼刺激
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれあり
- ・眠気又はめまいのおそれ



【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしないこと。

熱、火花、裸火、スパーク、高温のもののような着火源から遠ざけること。

個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

粉塵、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は良く手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

本来の用途以外には使用しないこと。

妊娠中、授乳期中は接触を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

容器を密閉しておくこと。

【救急処置】

皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激などがある場合には、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ又は吸入した場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。気分の悪い場合には医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて、容易に取り外しができる場合には、外して洗うこと。

眼の刺激がある場合には医師の診断、手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合には、医師の診断、手当てを受けること。

火災の場合には、適切な消化方法をとること。

【保管】

容器を密閉にして、日光の当たらない、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

その他取扱い上の注意事項



- 施工仕様(削孔寸法、使用ボルト、カプセル等)を厳守して下さい。
- ボルト埋込み時、ボルトを右回転のみで挿入すると、穴内より樹脂を掻き出してしまい、強度低下の原因になることがありますので、絶対にしないで下さい。(インパクトレンチでのボルト埋込み作業は、同様の理由より推奨しておりません。)
- 必ず専用ブラシ、専用攪拌金具が所定の寸法、形状を保っていることを確認してから使用して下さい。摩耗などによりブラシ部、攪拌部が消耗している場合は、新しい専用ブラシ、専用攪拌金具に取り換えてください。そのまま使用すると清掃不良、攪拌不良により強度低下の原因になります。
- 使用期間を経過したものは使用しないで下さい。使用期間は製造日から6ヶ月間です。
- カプセルが破損しているもの、内部の樹脂がゲル化したもの(流動性のないもの)は絶対に使用しないで下さい。
- 作業中は切粉もしくは樹脂、ガラス破片等が飛散する恐れがあります。保護具(作業着、安全靴、ヘルメット、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等)を必ず着用して下さい。
- 樹脂が皮膚に付着した場合は炎症を起こすことがありますので、速やかにウエス等で拭き取った上、石けん水で洗浄して下さい。
- 万が一、目に入った場合は、大量の水で15分以上洗い、必ず眼科医の診療を受けて下さい。
- 穿孔は穿孔面に対して垂直に行ってください。
- 硬化養生時間内は、絶対にボルトを動かさないで下さい。
- 孔内から溢れ出た樹脂は埋込終了後直ちに除去して下さい。
- アンカーの使用にあたっては、許容強度の範囲内でご使用下さい。
- 特殊な作業環境(高低温等、環境が通常と異なるもの)、標準外での施工の際は事前に日本デコラックス(株)まで必ずお問い合わせ下さい。この場合、当社以外の判断により生じた取り付け不良の責任について日本デコラックス(株)はその責めを負いません。
- カプセルは火気に絶対に近づけないで下さい。破裂する恐れがあります。また、カプセルは絶対に40℃以上にしないで下さい。
- カプセルは冷暗所(0～30℃)に保管して下さい。高温場所等の悪環境で保管した場合、使用期間内でも使用できなくなることがあります。作業中も直射日光にあてないで下さい。
- その他不明な点は日本デコラックス(株)までお問い合わせ下さい。
- ケミカルアンカーは日本デコラックス(株)の登録商標です。

製造元 **日本デコラックス株式会社**

〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷10

カスタマーセンター  0120-19-3501

※携帯電話、PHSからはご利用になれません

上記番号がご利用いただけない場合は

TEL<0587>91-3501 FAX<0587>91-3505